

マス・サバービア考 (V)

—中学校・高等学校の社会科テキスト (地理) にみる郊外—

西脇和彦

1. はじめに

戦後のマス・サバービアをテーマに継続的に研究をしているが、本稿では、中学校と高等学校で使用されている社会科テキスト (地理) に記載されたサバービアの諸側面を整理し、サバービア関連の資料を作成することを目的としている。

これまで「マス・サバービア考」については一連の研究を開始するにあたり、まず「郊外生活論」(『学苑』No. 690, 昭和女子大学近代文化研究所, 平成9年9月)でサバービア研究に着目する理由を述べ、「マス・サバービア考 (I)~(IV)」(『学苑』No. 704, No. 715, No. 726, No. 748, 昭和女子大学近代文化研究所, 平成10年12月~平成14年12月)においては、郊外住宅地, ロードサイド・ビジネス, ジェンダー, 人口動態, 新郊外 (遠郊) など, その事例や諸側面, 今後の課題をとりあげてきた。ことに「マス・サバービア考 (IV)」においてはサバービア関連の資料を例示し, その一部として中学校の社会科テキスト (地理) を援用したが, 本稿では, さらに中学校のテキスト数を増やし, 新たに高等学校のテキスト (地理) を追加し, 「テキストにみる郊外」の諸側面 (郊外住宅地, ロードサイド・ビジネス, 外国のサバービアなど) を整理し, 郊外一覧表を作成し直した。

学習指導要領に沿って, 中学校のテキスト (地理) では日本における郊外化を多く扱い, 高等学校のそれでは外国の事例が多く登場するが, 郊外化も次第に都市化に吸収され, 新鮮味が少々希薄化したきらいがある。しかしそれだけ郊外化が定着し日常化したともいえるだろう。また高等学校の最新版テキストに登場した「ニュータウンのオールタウン化 (高齢化)」や「エッジシティ (新都心)」, 「田園都市構想とは」の指摘は, 今後の日本社会に向けての再生のヒントになるかもしれない。なぜなら, 郊外生活には, 良くも悪くも先進性が反映するからである。本稿では, 中学校・高等学校それぞれのテキストを検定年・発行年に準拠し各2グループずつにまとめ, 合計4つの「テキストにみる郊外」の一覧表を作成した。そして, テキストからの引用文, 各表に記載された用語の説明とコメントを付した。以下, 平明な記述の中学校地理のテキストから順次検討していく。

2. 中学校の地理テキスト (平成13年検定済, 平成14年発行) から (表1)

はじめに郊外生活 (サバービア) を紹介した一文から考えてみよう。

大都市の郊外に住む人たちは, 車が2台以上も駐車できる家に住み, 平日は, 数十kmはなれた都心の会社に通い, 休日には広い駐車場を備えたショッピングセンターで, 1週間分の買い物をするのがふつうだという。

郊外のハイウェーぞいのショッピングセンターには, デパートやスーパーマーケットを中心にさまざまな

表1 テキストにみる郊外（中学校／地理） 平成13年検定済 平成14年発行

郊外 テキスト	住宅地・団地・ ニュータウン	アクセス	ロードサイド・ ビジネス	中心部からの 移転・進出	ドーナツ 化現象	近郊農業	サバービア (外国)	その他
帝国書院 地理 706	多摩 NT 千里・泉北 NT 西神 NT	○	SC	大学 卸売団地 流通団地				豊かな自然・ 静かな環境 東京大都市圏
教育出版 地理 704	多摩 NT 八王子市 港北 NT	幹線道路沿い 新幹線通勤	大型 SC	大学・短大 卸売・商業団地 関西文化学術研 究都市	○	野菜・果 樹・畜産		住宅地の乱開 発による田畑 や森林の減少 (スプロール 現象) 大阪大都市圏
東京書籍 地理 702	多摩 NT 八王子市 泉北 NT	高速のインター チェンジ付近	アウトレットモール スーパーマーケット コンビニ	工業団地		○		ベッドタウン 地方都市の市 域拡大 東京大都市圏
日本書籍 地理 701	○	○	大型量販店 ホームセンター チェーン店	テクノロジー パーク（熊本空 港隣接）			ロンドン・ ニューヨーク 郊外 シリコンバ レー	都市化
清水書院 地理 705	つきみ野住宅地 吹田市 千里 NT	東急田園都市線					シドニー郊 外	
日本文教出版 地理 707	多摩 NT 三田市	幹線道路沿い	コンビニ 大駐車場完備 宇多津町の SC	工場 工業団地 つくば研究学園 都市	○	都市農家	アメリカの 巨大 SC シリコンバ レー	職住分離（家 と職場の分離） 東京大都市圏 (半径 50 km)
大阪書籍 地理 703	桃花台 NT (小牧市)	新交通システム 幹線道路沿い	レストラン 書店	大学 工場 卸売・商業団地 流通センター		生鮮野菜		

○…簡単な記載あり NT…ニュータウン SC…ショッピングセンター

専門店があり、必要な買い物はすべてすませることができる（日本書籍『わたしたちの中学社会 地理的分野』p. 112）。

この引用文自体はアメリカの郊外生活を説明したものであるが、現在の日本のそれととらえてもほとんど違和感を覚えることはない。20年前後のタイムラグがあっても、相似したライン上にあるからである。郊外住宅地、ニュータウン、ロードサイド・ビジネスなど郊外生活に関連する諸側面にはいろいろあるが、次に、郊外住宅地の展開パターンと関東関西を代表するニュータウンの多摩ニュータウンと千里ニュータウンをとりあげよう。

住宅地は、鉄道や道路にそって、東京の郊外へと広がっている。まわりの神奈川県や千葉県、埼玉県などの人口が急激にふえて、人口のドーナツ化現象が見られ、家と職場の分離がいつそう進んでいるのである（日本文教出版『中学生の社会科 地理』p. 123）。

…都心からはなれた郊外には、ベッドタウンとして、多くの人々がくらす町が形成されてきました。多摩ニュータウンや八王子市は、その代表的な町です（東京書籍『新しい社会 地理』p. 87）。

…吹田市となりの豊中市にまたがる大阪の北部の千里丘陵には、1960年代に千里ニュータウンが建設され、多くの人びとが移り住んだ。1980年代後半になると、吹田市ではしだいに転出人口のほうが多くな

り、1990年代にはいと人口が減少するようになった。千里ニュータウンでも住む人びとの高齢化がすすみ、新たな問題を生んでいる（清水書院『新中学校 地理』p.121）。

また、横浜の港北ニュータウンをとりあげたテキストもあるのでそれを紹介しよう。

神奈川県横浜市の西北部に広がる港北ニュータウン（都筑区）はゆっくりと時間をかけてつくられている大型の団地である。30万人住むのが目標で、現在まだ人口が増えつつある。横浜および東京に通勤する人の住む場所を提供するだけでなく、研究所などの働く場所や大学などいろいろな機能を組みこんでいる。もともと土地を持っていた人たちの意見も取り入れて、近郊農業のための土地を残し、公園を広く取って緑を多くし、住む環境を整えている（教育出版『中学社会 地理』p.161）。

このようなニュータウンに住む人びとは近隣の商店街やスーパーマーケット、ショッピングセンターで買い物をすることになる。日本の郊外では鉄道と自動車がその足となるが、前者は直線的に伸張し、後者は平面的に展開することを可能にする。テキストはその事情を次のように説明する。

…住宅地の拡大にともない、商店街は鉄道の沿線の駅前を中心につくられてきた。しかし、自動車が普及し、道路が整備されるにつれて、郊外に大型のショッピングセンターがつくられるようになっていく（教育出版『中学社会 地理』p.184）。

…都市近郊のショッピングセンターでは、周辺の地域から自動車を利用して買い物に来られるように、広い駐車場を備えています（帝国書院『中学生の地理』p.181）。

さらには、新しい生活スタイルの1つとして家族そろって外食を楽しむスタイルの誕生を指摘することもできる。その説明文を引用しよう。ここでは「ロードサイド・ビジネス」あるいは「モータリゼーション（自動車普及社会）」という用語は直接使用されないまでも、これらを含んだ内容の濃い記述となっている。

日本では、昔は働く人や学生の多くが、毎朝、弁当をもって家を出るのがふつうでした。たまに出前をとることはあっても、家族そろって外食するという事は、めったにありませんでした。

しかし、マイカーの普及とともに、郊外の道路ぞいに広い駐車場をそなえたファミリーレストランやファーストフードのチェーン店などが相ついで開店し、家族での外食がめずらしくなりました（日本書籍『わたしたちの中学社会 地理的分野』p.165）。

その他、大学、工業団地、卸売団地、先端技術研究所などの集積も郊外にみられるが、そのなかの流通センター（団地）についての叙述を紹介しよう。

…さまざまな物資の流れをよくするために、倉庫やトラックターミナル、中央卸売市場をひとまとめにした流通センターが郊外につくられています（大阪書籍『中学社会 地理的分野』p.193）。

また、「地産地消」を推進する立場からも都市近郊の農業と都市農家のなやみについて確認しておくことも重要である。生産と消費の共存のために避けては通れない課題でもある。では、その部分を引用しよう。

首都圏の周辺では、栃木県のいちご、茨城県のメロンやピーマン、白菜、山梨県のぶどうなど、野菜・果樹の栽培や畜産が活発である（教育出版『中学社会 地理』p.170）。

都市農家のなやみ 住宅地の中の畑は、住宅のかげになって日光がじゅうぶんあたらなかったり、風通しが悪くなったりするので、作物によい環境とはいえない。地域住民から、土ぼこりや、農薬散布、肥料による悪臭の発生などに対し、苦情がよせられることもある。農地に対する宅地なみの課税も、農家にとって大きな問題となっている（日本文教出版『中学生の社会科 地理』p.125）。

3. 中学校の地理テキスト（平成 17 年検定済、平成 18 年発行）から（表 2）

ここでも首都圏や大阪圏を代表する郊外住宅地やニュータウンが紹介される。郊外の団地生活は高度成長以降の新しい生活スタイルを提示してきた。職住分離をもたらす通勤通学はその一例であるが、郊外では居住者向けのビジネスも次第に展開するようになり、生活者の利便性の向上に寄与している。まずは基本的な叙述から確認しよう。

大都市の郊外には、丘陵などを造成してニュータウンがつくられています。大阪府北部にある人口約 15 万人の千里ニュータウンは、全国に先がけて開発され、郊外の団地生活という新しい生活スタイルを定着させました（大阪書籍『中学社会 地理的分野』p.93）。

大都市の郊外には、娯楽施設やレストランなどの集まった大規模なショッピングセンターがあり、週末には多くの人々が食料品などを大量にまとめ買います（同書、p.119）。

表 2 テキストにみる郊外（中学校／地理） 平成 17 年検定済 平成 18 年発行

郊外 テキスト	住宅地・団地・ ニュータウン	ロードサイド・ ビジネス	中心部からの 移転・進出	近郊農業	サバービア (外国)	その他
帝国書院 地理 711	八王子市 多摩 NT 港北 NT 西神 NT	大型 SC	工業団地（高崎市）	小松菜 （葛飾区）	モール・オブ・アメ リカ（ミネソタ州）	市街地と畑が入りまじ って見られる郊外 高速道路のインターチ ェンジ付近
東京書籍 地理 708	多摩 NT 千里 NT 泉北 NT	大型 SC	関西文化学術研究都市 卸売団地 工業団地	園芸農業		ベッドタウン インターチェンジ周辺 ドーナツ化現象
日本書籍新社 地理 713	横浜市青葉区美しが丘 横浜市港北区小机町	大量量販店 ホームセンター 大型スーパー	シリコンライン （JR 南武線沿線） テクノリサーチパーク （熊本市）		シリコンバレー アトランタ郊外 ニューヨーク郊外	埼玉都民・千葉都民 都市化
大阪書籍 地理 709	桃花台 NT（小牧市） 千里 NT 泉北 NT 平城・相楽 NT 洛西 NT 西神 NT 須磨 NT 北摂三田 NT	SC	大学	生鮮野菜	シリコンバレー 大規模な SC	

○…簡単な記載あり NT…ニュータウン SC…ショッピングセンター

都心をはなれた郊外には、ベッドタウンとして多くの人がからす住宅地が開発されています。多摩市や八王子市など4市にまたがる多摩ニュータウンはその代表的な地域です。この郊外から、通勤や通学で毎日多くの人が都心にやってきます（東京書籍『新しい社会 地理』p. 89）。

次に、「都心部から郊外へ移転あるいは進出」した事例をとりあげよう。工業団地はよく知られたものだが、このほかにも、商業団地、大学などさまざまなケースがある。それらの説明文を引用しよう。

産業や人口が集中するにつれ過密問題が生じた。その問題を解決するために、郊外に卸売団地がつけられ、千里や泉北にニュータウンが建設されました。人々が郊外に移り住むと、ショッピングセンターなどが郊外に進出し、問屋も郊外に移転しました（東京書籍『新しい社会 地理』p. 175）。

郊外の市町村では、より便利で活気のある町づくりをめざして、大学や企業などの移転が進められてきました（帝国書院『中学生の地理』p. 65）。

さらに、郊外に展開する先端技術の集積地区、企業研究所も忘れることはできない。これについては、アメリカのシリコンバレーが有名であるが、これにならったシリコンライン（JR南武線沿線）がテキストに掲載されている。

…サンフランシスコ近郊のサンノゼ付近は、コンピュータ関係の工場や研究所が集中し、シリコンバレーとよばれていることがわかった。

…バレー（谷）といっても、ほとんど平坦な土地で、ここにコンピュータ関係の工場や研究所が集まる前はぶどうやプルーン、さくらんぼなどの大生産地だったところでした。

地元の大学を卒業した青年が若い教授のすすめで事業をおこしたのをきっかけに、第二次世界大戦後、電子機器関係の研究所や工場の設立が相つぎました（日本書籍新社『わたしたちの中学社会 地理的分野』p. 123）。

…川崎市の内陸部には、テレビやコンピュータなどをつくるメーカーの大工場がいくつもありました。しかし、生産の中心は地方工場へ、さらに海外へと移り、工場のあとは、多くが最新のICや、電子・電気機器の新製品を開発・試作するための研究施設となっています。そして、その地域を走るJR南武線の沿線は、シリコンラインなどとよばれています（同書、p. 161）。

ところで、アメリカミネソタ州にある全米最大級の郊外型巨大ショッピングセンター（モール）を紹介したテキストがある。その部分を引用しよう。

モール・オブ・アメリカという、約1万3千台を収容する駐車場をもつ、アメリカ合衆国最大級のショッピングセンターです（帝国書院『中学生の地理』p. 114）。

新しい生活を提案し、利便性を追求してきた郊外生活にも問題点や課題はみられる。消費性の優先、インフラの未整備、コミュニティ意識の希薄性、遠距離通勤など、その中からこれらが絡みあった2例を以下で指摘しておきたい。

(横浜市の場合一筆者注) …転入による人口増加があまりにも激しいため、幼稚園や保育所に入れない児童が出てくるなどの新たな問題が生じたところもありました(帝国書院『中学生の地理』p.157)。

…東京は、土地の値段も、家の家賃も、とても高く、家を建てたり、希望の住まいをさがすのは容易ではありません。そのため、土地の値段や家賃が東京より安い、神奈川や埼玉、千葉などに住んで、東京に通う人はふえるいっぽうです。

これらの人々は、埼玉県や千葉県の実住者ですが、1日の大半は東京で過ごし、夜おそく、埼玉や千葉の自宅に帰っていただけです。そのため、埼玉都民、千葉都民などとよべれます(日本書籍新社『わたしたちの中学社会 地理的分野』p.55)。

4. 高等学校の地理歴史科用テキスト(平成14年検定済,平成15,16年発行)から(表3)

日本のサバービアを代表するニュータウンとして紹介される多摩ニュータウンであるが、郊外住宅地として説明されることがほとんどである。しかしその後の展開を含めて説明したケースがある。その事例から始めよう。

日本では、1960年代以降、地方自治体などによって、郊外に大規模な住宅開発が行われた。…多摩ニュー

表3 テキストにみる郊外(高等学校/地理)

平成14年3月検定済

郊外 テキスト	サバービア (日本)	サバービア (外国)	ショッピング センター等	ドーナツ化・ スプロール化現象	アクセス	その他
東京書籍 地理A 001	東広島市西条	オーストラリア ジャカルタ(ゆったり とした緑に囲まれた庭 付きの家が多い) リオデジャネイロ・サ ンパウロ	大規模なスーパー やショッピングモ ール(米) 自動車を利用して まとめ買いするワ ンストップショッ ピング*1	○		
二宮書店 地理A 005	筑波研究学園都市 関西文化学術研究都 市	大ロンドン計画とNT	エドモントン(加) パリ郊外のテーマ パーク型遊園地		ロッテルダム郊 外の高速道路	
第一学習社 地理A 006	多摩NT 千里NT ベッドタウン(遠距 離通勤)	カリフォルニアの郊外 住宅 大ロンドン計画と郊外 のNT	大SC(シカゴ)	○		田園都市構想(職住 近接)
帝国書院 地理B 003	平成NT	大ロンドン計画とNT ラ・デファンス (パリ郊外の副都心)	大型SC (ロサンゼルス)	○ スモーカーマウン テン(マニラ)	インターチェン ジ近くの工業団 地(高崎市) 新幹線通勤	近郊農業(園芸農業) 衛星都市 田園都市構想(職住 近接)
教育出版 地理B 002	多摩NT サイエンスパークと シリコンリバー (神奈川県・多摩川)	シリコンバレー ハリウッド、アナハイム ソウルとプサン(韓) 郊外の高層アパート ダーチャ(露)	大規模SC (上越市)	○ 大学や公共施設の 郊外移転	エレクトロニク ス・ハイウェイ (ボストン郊外、 R128号線沿い)	衛星都市 郊外での在宅ワーク (テレワーク)
二宮書店 地理B 004	千里NT 浦安(郊外住宅地、 臨海型)	パリ近郊のNT 大ロンドン計画とNT アトランタ、アンカラ、 ソウル シリコンヴァレーの産 業団地 工業団地(チアンシー 省)	○	○ 工場の郊外移転	インターチェン ジや空港付近に 立地する工場	近郊農村(園芸農業・ 酪農)(オークラン ド、ソウル、中国) 衛星都市

*1 地価の安い都市郊外に広い駐車場を備えた大規模店舗

○…簡単な記載あり NT…ニュータウン SC…ショッピングセンター

ータウンはその一例で、東京西部の丘陵地に計画され、複合的な多機能都市が形成された。初期はベッドタウンとして開発されたが、のちに業務機能の移転も推進され、劇場・ホテル・大型店舗、企業の本社機能も進出するようになった（教育出版『地理 B』 p. 106）。

サバービアは郊外生活を総称した名称であり、郊外住宅地のほかにも、商業団地・工業団地・サイエンスパーク・近郊農村・衛星都市などを包含している。そこで日本のサバービアから4ケースを列挙してみよう。

地価は都心から離れるにしたがって安くなるので、周辺部に向かい住宅地区や工場地区などが形成され、地域分化が進む。都市が拡大する過程で、大都市の郊外に衛星都市が発達することもある（教育出版『地理 B』 p. 105）。

…研究機関が集まったサイエンスパークなどが都心に近いところに立地するようになり、多摩川はシリコンリバーとさえよばれている（同書, p. 77）。

都市近郊の農産物直売所は都市住民の支持を集めているし、農業体験や棚田オーナー制など、農村との結びつきを求めている人びともいる（二宮書店『詳説新地理 B』 p. 307）。

野菜や果樹、花卉などの市場性の高い作物の栽培は、単位面積あたりの収益が大きく、多くの資本を投入して集約的に行われる。このような農業は園芸農業とよばれ、大都市近郊においてさかんで、近郊農業の形式をとることが多い（帝国書院『新詳地理 B』 p. 73）。

外国のサバービアについては、郊外住宅地としてはアメリカの諸都市やイギリスのロンドン大都市圏が、サイエンスパークとしてはアメリカのシリコンヴァレーが多くとりあげられているが、ここでは前者についてはパリ郊外のニュータウンを引用しよう。

パリ大都市圏に流入する人口を受け入れるため、五つのニュータウンが市街地を取り囲むように都心から約30 km離れた場所に建設された。パリ大都市圏のニュータウンは職住近接を目標に、雇用・居住・諸施設・サービス活動などの中心地を核に市街地を形成し、郊外地域の再編を進めるものとして期待された。

たとえば、パリの東に位置するマルヌラヴァレ地区では世界的なテーマパークが立地し、有力企業や工場の誘致も進み、パリ近郊の地域中心地としての役割をになうようになった。しかし、ニュータウンだけでは雇用の場は十分ではなく、都心に通勤する人びとも多い（二宮書店『詳説新地理 B』 pp. 102-103）。

…サンフランシスコ南東部のサンノゼ近郊にあるシリコンバレーは、工学系の大学や研究機関を中心に、国内外のコンピュータ・エレクトロニクスなどのIT産業が集中する。IT産業は、ダラスやボストンなどにも集中して立地し、現在ではアメリカ工業の基幹となっている（第一学習社『地理 A』 p. 96）。

サバービアに展開する大型ショッピングセンターはどのテキストにも登場するが、その立地だけではなく人びとの利用方法を含めた説明文を紹介しよう。

ロサンゼルスショッピングセンターは、都心部と郊外を結ぶ幹線道路やフリーウェイの近辺など、交通条件のよいところに立地し、駐車場が広く、また売り場面積も広い。店は2~3の大型小売店舗と、衣料品

やスポーツ用品などの専門店などで構成されていることが多い。ショッピングセンターは、業種や品数が豊富なおうえに、同じ場所で必要な生活品が一度に購入できるため、時間の節約となり、たいへん便利である。週末の夜や休日には、広い駐車場が自動車で埋めつくされる。売り場には多種類の商品が大量に並べられており、家族連れで買い物を楽しむ光景が見られる。支払いは、現金よりも、パーソナル・チェックとよばれる個人の当座小切手や、クレジットカードが使われるのがふつうである（帝国書院『新詳地理 B』 p. 125）。

次に、郊外地域の拡大であるスプロール現象や郊外へのアクセス、諸施設などの都心部から郊外への移転に関する国内外の記載について確認しよう。ちなみに、中学校のテキストでは「スプロール化」現象を説明してはいるが、この用語自体、中学校のテキストには見当たらない。

…郊外では、宅地化などが無秩序に進むと、…農地や緑地が虫食いのつぶされるスプロール現象が起こる。人口の急増に教育・医療施設やライフラインの整備が間に合わないなどの、郊外特有の問題が起きる場合もある（東京書籍『地理 A』 p. 143）。

高速道路のインターチェンジと工業団地 機械工業は材料となる部品やできあがった製品をおもにトラックで運ぶため、交通が便利で広い用地を得やすいところに工場がつくられる（帝国書院『新詳地理 B』 p. 68）。

マニラの郊外にできた新しいスモーカーマウンテン（フィリピン）ごみから発生するガスに火がつき、いつも煙が絶えないことからこの名前がついた（同書、p. 270）。

日本の首都圏で 1970 年代から急速に進んだのが、大学施設の郊外への移転である。これに対して、地方都市では美術館のような文化施設、病院、福祉施設などの公共施設も郊外に建設されることが多くなっている（教育出版『地理 B』 p. 107）。

近未来への課題として指摘されるのが職住近接の実現であるが、そのために田園都市構想を再確認するとともに現段階での事例（在宅ワーク）を示し、まとめとしよう。SOHO あるいはサテライトオフィスといった概念は用いられていないが、職住近接の可能性を示唆するものではある。

日本は、ほかの国のすぐれた取り組みに学びながら交通混雑・大気汚染・産業と家庭の廃棄物処理などの問題を解決し、自然環境や伝統的・文化的な景観の保存・再生をはかり、職住近接型の新しい都市・住宅づくりを進める必要がある（二宮書店『新地理 A』 p. 139）。

…イギリスでは 19 世紀後半になると、住みやすい環境を求める運動がはじまった。その代表は、ハーワードによる「田園都市構想」である。田園都市は、都市と農村の長所を結びつけて自立的な新しいコミュニティを形成し、都市の過密と農村の孤立を解決しようとする試みであった。すでにある都市から離れたところに立地し、緑地と宅地などからなり、住宅地の一端に工場を立地させるなど、職住近接を原則としていた（教育出版『地理 B』 p. 108）。

近年、郊外では、情報システムの発展にともなう在宅ワーク（テレワーク）の拡大が注目されるようになった。特に、育児をかかえた主婦層にとって、これまで郊外では雇用の機会が限られていた。…インターネットを利用して、小規模の事務所や自宅で作業を行うことで、在宅勤務できる仕事の内容は大きく拡大した。このような新しい労働形態は、女性の社会進出を促進する可能性を広げた（同書、p. 107）。

5. 高等学校の地理歴史科用テキスト（平成 18, 19 年検定済, 平成 22 年発行）から（表 4）

日本の大規模な郊外住宅地としては、多摩ニュータウンと千里ニュータウンが有名であり、学術文化都市としては、筑波研究学園都市と関西文化学術研究都市が東西の代表格である。また郊外住宅地の外国の例としては、ニューヨークやロンドンの大都市圏があげられることが多い。そして郊外に誕生するこれらの都市を衛星都市とっている。

テキストではこれらを次のように説明している。

都市が発達するにつれて、市街が拡大し、周辺地域では都市化が進んだ。大都市の周辺部では、大都市へ通勤する人々が住む住宅都市がつけられ、移転した工場や大学、研究所などを中心として新しい都市が形成された。大阪府の千里ニュータウン、東京都の多摩ニュータウンのような住宅都市や、筑波研究学園都市、関西文化学術研究都市などが典型的な例である。このように、大都市周辺部に立地し、その機能の一部を分担する都市は衛星都市と呼ばれる（東京書籍『地理 B』p. 109）。

なお、郊外に展開する外国の先端技術の IT 産業については次のような事例を紹介している。

…サンフランシスコ南東部のサンノゼ近郊にあるシリコンヴァレーには、大学や研究機関を中核に、コン

表 4 テキストにみる郊外（高等学校/地理）

平成 22 年発行

郊外 テキスト	サバービア (日本)	サバービア (外国)	ショッピング センター等	産業・学術	ドーナツ化・ スプロール 化現象	その他
東京書籍 地理 B 009 (平成 19 年検定済)	住宅都市としての千里 NT, 多摩 NT	ニューヨーク大都市圏 ダーチャ（露, 郊外別荘） 大ロンドン計画	インターチェンジ付近や幹線道路沿いの大型 SC ワンストップショッピング	筑波研究学園都市 関西文化学術研究都市 ボストン郊外 近郊農業	○	衛星都市 NT のオールドタウン化 首都圏の NT における高齢化, 少子化 エッジシティ
帝国書院 地理 B 010 (平成 19 年検定済)		ロンドン大都市圏 ビヴァリーヒルズ	幹線道路沿いの大型店	近郊農業・園芸農業 シリコンヴァレー バンガロール（印） 工業団地（デリー, チェンナイ, バンコク, 上海）	○	衛星都市 モータリゼーションの進展 新都心（幕張, さいたま） インターチェンジ付近
二宮書店 地理 A 011 (平成 18 年検定済)		ダーチャ ロンドン大都市圏 レッチワース（英）	巨大駐車場完備の大型 SC（米）	工業団地（上田市, 石岡市）	○	バカンス先としての都市郊外の田園地域（仏） 田園都市構想
第一学習社 地理 A 012 (平成 18 年検定済)	相模原市 多摩 NT 千里 NT	郊外住宅（米）	○	バンガロール（印） シリコンヴァレー	○	郊外スラム（マニラ, ジャカルタ, ムンバイ） 田園都市構想（職住近接）
教育出版 地理 A 009 (平成 18 年検定済)		高層住宅団地（テグ, ソウル, プサン） ダーチャ 大ロンドン計画	ショッピングモール テーマパーク 大規模駐車場完備（米）	○	○	センターピボット方式の灌漑による農地開発（石油産油国） 田園都市構想 パーク・アンド・ライドシステム

○…簡単な記載あり NT…ニュータウン SC…ショッピングセンター

ピューター・エレクトロニクスなどの IT 産業が集積している。IT 産業は、南部のダラスや北東部のボストン周辺にも集積し、現在のアメリカの基幹産業に発展している（第一学習社『地理 A』p.104）。

住民の生活圏が都市の中心から郊外に移行するにつれ、消費生活に関連するビジネス圏も郊外化することになる。モータリゼーションの進展とあいまって、インターチェンジ付近や幹線道路沿いにさまざまなロードサイド・ビジネスが集積するが、その典型を大型ショッピングセンター（モール）にみることができる。

一連の消費行動をテキストではアメリカの事例から説きおこし、次のように説明している。

アメリカでは、1920年代に自動車が普及しはじめ、道路網の整備とともに郊外に住宅地域が拡大すると、スーパーマーケットやガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどが都市郊外に立地するようになった。第2次世界大戦後には、さらに広い駐車場と売り場面積をもち、購買や飲食など、複数の消費行動を可能にする郊外型のショッピングセンターが発展した。

その後、同じような現象はアメリカ以外の国々にもひろまり、消費行動の郊外化とワンストップショッピングの傾向を生み出している（二宮書店『よくわかる地理 A』p.40）。

家庭への乗用車の普及は、消費者の行動を鉄道やバスなどの公共交通機関から解放した。このため商業の中心は従来の市街地から広大な敷地を確保しやすい郊外へ移転した。大規模な駐車場を備えた郊外型大型店は、イベント用の施設や飲食施設、宿泊施設を併設するショッピングモールへと、一方で、遊園地も遊具に加えて大規模な売店と飲食施設を備えたテーマパークへとそれぞれ発展した。これらに共通することは、非日常的空間が効果的に演出されていることであり、余暇空間を企業が大規模につくり出していることである（教育出版『新地理 A』p.39）。

ところで、郊外化を促進した要因の1つとしてモータリゼーションを忘れてはならないが、これについては、次のような説明がなされている。

大きな駐車場があり、ほとんどの買い物客が自家用車でやってくるショッピングセンターは、モータリゼーションが早く進んだアメリカ合衆国で発達した。アメリカ合衆国のショッピングセンターは、自家用車で行きやすい高速道路や幹線道路沿いの広大な場所に立地するものが多い。日本でも、モータリゼーションが1970年ごろから進み、人々の生活は大きくかわった。買い物は、広い駐車場をもつ幹線道路沿いの大型店を利用することが多くなり、家族で自家用車に乗って外食に出かけることも気軽にできるようになった。

世界で最初のモータリゼーションは、1920年ごろのアメリカ合衆国で進み、自家用車を日常生活に使うようになったことで、郊外に広大な住宅地が出現した。日本では、1970年代に所得水準が上昇し、自家用車をもつ人が増えたことで進んだ（帝国書院『世界地理 B』pp.52-53）。

また、ロシアの郊外別荘であるダーチャも散見するが、ここでは自然と親和し野菜作りなどが行われている。これは家庭菜園であり、近郊農業や園芸農業に及ぶものではないが、田園都市構想に近似した要素をもっている。

モスクワ郊外のダーチャはこのように説明されている。

…モスクワなどの大都市に住む多くの人々は、郊外に…ダーチャ（別荘）をもっている。週末や夏休みに出かけ、自然の中での生活を楽しみながら、生活に欠かせない自給用の野菜を栽培して過ごしている（東京書籍『地理 B』 p. 276）。

田園都市構想とは本来職住近接型で生産と消費のバランスがとれた地域づくりを目標としたものであったが、日本では現実には郊外住宅地となり、通勤通学を基調とする消費的生活がそこでは色濃いためである。今日的課題である「ワーク・ライフ・バランス」や「ファミリー・フレンドリー」の実現に向けて避けては通れない遠距離通勤や職住分離の問題も内包しているのであり、この点からも近未来への助言として、新都心（例えば、さいたまや幕張）やエッジシティ（業務核都市）は大いに参考となるものである。併せて、サテライト・オフィス（本社機能の一部を有する郊外にある小規模オフィス）への評価も今後、たかまっていくであろう。以下の記述には、サテライト・オフィスの可能性も含まれていると考えられる。テキストではこうした近未来の姿を次のように示唆している。

ロンドンでは19世紀末、過密と環境悪化の都心部を避け、郊外に職住近接型の田園都市を新設する構想が提唱された。この構想は、第二次世界大戦後のニュータウン計画に反映され、各国の都市づくりにもいかされた。日本でも、東京の多摩ニュータウンや大阪の千里ニュータウンなどが建設されたが、職住近接型のロンドンの田園都市構想とは異なり、近隣の職場は少なく、住民の多くは都心への遠距離通勤を余儀なくされている（第一学習社『地理 A』 p. 140）。

…東京大都市圏のような大規模な都市圏では、オフィスなどが従来の都心以外の地区にもしだいに分散しはじめていて、副都心あるいは新都心とよばれる地区が生まれてきている（帝国書院『世界地理 B』 p. 45）。

…マンハッタンのように超高層ビルが林立する都心から、郊外や地方の大都市に本社を移転する企業も少なくない。郊外から郊外に自動車通勤する人も増えてきており、郊外に位置しながらオフィスビルや商業施設が集中する地区も出現している。こうした都市周辺部における成長著しい郊外核をエッジシティと呼ぶ（東京書籍『地理 B』 p. 317）。

6. おわりに

筆者は「郊外化」を現代社会の重要な特徴と考えている。郊外化は、マクロレベルにとどまらず、メゾ、ミクロのレベルでも強く作用している。人口移動、ビジネス、くらしなど、これらのさまざまな現象が郊外化に規定されている。

こうした視点から、マス現象としての郊外化を中学校・高等学校の社会科（地理）テキストで確認することが本稿の目的であった。地理的分野のテキストから郊外関連の記事を検討抄出し、本文では経年順に4グループに整理した。それぞれの記載内容からは、高度成長期以降の展開、サービス化、情報化、さらには少子高齢化といった時代特性をみることもできた。郊外生活すなわちサバービアには時代の先鋭的な部分が活写されているのである。近未来の日本社会がある。ポスト・モダンの予兆さえ感じられるのである。ここに、サバービア研究の面白さ、醍醐味がある。

今後もサバービア研究、併せてその一環をなす「テキストにみる郊外」を継続していきたいと考えている。

追補 中学校の地理テキスト（平成8年検定済，平成13年発行）から（表5）

平成8年検定済の中学校の地理テキストは3種類しか入手できなかったため，本文に組み込むことはしなかったが，ここに追補として挿入した。

郊外に関する基本的説明はなされていると考えられるので，本文と同様に作表および説明文の抄出を以下において企画した。

日本における郊外住宅地・ニュータウンに関する叙述は，その問題点や課題についても触れていることに注目したい。

郊外の家々は駅から遠いことが多いため，駅まで自転車や自家用車を利用する人が多い。このため駅前の駐輪場や駐車場の不足が各地で問題となっている（日本書籍『中学社会 地理的分野』p.221）。

…郊外の人口が増えている地域では無秩序な開発が目立ち，道路，上下水道，学校，公園などの公共施設の整備がおくれている。このような都心の人口の減少と郊外の人口増加は，真ん中が空洞になった形なのでドーナツ化現象とよばれる（東京書籍『新しい社会 地理』p.232）。

…郊外の住宅地では，人口の増加にともなって無計画に宅地の開発が進められた地域もある。そのために，学校・道路・上下水道などの整備や，ごみの処理などにかかる費用が増えて，市町村の財政が圧迫されている場合もある（教育出版『中学社会 地理』pp.240-241）。

わが国初の大規模住宅団地である千里ニュータウンは1992年，入居開始から30周年をむかえた。…世代交代の時期をむかえ，高齢化が進む千里ニュータウンはいつまでも「ニュー」ではない（同書，p.208）。

ロードサイド・ビジネスについては次の一文を紹介しよう。

住宅地域の拡大にともなって，商店街は鉄道の沿線の駅前を中心に形成されてきた。しかし，自動車交通が発達するにつれて，幹線道路沿いや住宅団地の中に大規模な商店やショッピングセンターが進出するようになった。これらの大型小売店は大規模な駐車場を持ち，客が自家用車を使って気軽に来客するという買い物の仕方を生み出した（教育出版『中学社会 地理』p.209）。

表5 テキストにみる郊外（中学校／地理） 平成8年検定済 平成13年発行

郊外 テキスト	住宅地・団地・ ニュータウン	ロードサイド・ ビジネス	中心部からの 移転・進出	近郊農業	サバービア (外国)	その他
東京書籍 地理 710	千里NT 泉北NT 仙台都市圏		大学（八王子市） 関西文化学術研究都市 工業団地	酪農（米） 野菜作り（米）		ドーナツ化現象 空港付近や高速道路沿い の工場 遠距離通勤 東京大都市圏（70 km 圏）
教育出版 地理 712	千里NT（の高齢化） 泉北NT	大規模な駐車場を 持つSC 大型小売店	大学 工業団地	近郊農業 生産緑地	ニューヨーク やロサンゼルス の郊外住宅 地	ベッドタウン 衛星都市 新幹線通勤 高速道路沿い 近郊農村の都市化
日本書籍 地理 709	首都圏の新興住宅地 千里NT 泉北NT	量販店（既製服・ 靴・食品 etc.）	関西文化学術研究都市	近郊農業 生産緑地		ベッドタウン 衛星都市 郊外の都市化 千葉都民・埼玉都民

NT…ニュータウン SC…ショッピングセンター

また中心部からの移転によって地域変容が生じた八王子のケースの指摘も重要である。近郊農村の都市化あるいは農村の郊外化はよく目にするが、織物の町から学園都市へと変容した八王子のケースは異色といえるだろう。

東京のターミナルと結ばれている厚木市、入間市などには多くの大学が移転してきている。なかでも、18の大学が移転してきた八王子市は、織物の町から、学生の下宿やマンションの多い学園都市となった。大学の移転とともに、書店、印刷業、食堂、喫茶店などもあい次いで移転してきた（東京書籍『新しい社会 地理』p. 225）。

近郊農業についても、郊外化、旧住民と新住民の関連性、生産緑地などの課題がある。これらについての説明文を引用しよう。

工業団地や住宅団地ができ、農村地域に新しい住民が多く住むようになって、都市と農村の区別が難しくなってきた。農家では、あつぎの夫婦ばかりか世帯主も都市へ通勤している副業的農家が増えている。副業化が進むにつれ、農村社会の伝統的行事が行われなくなったところもある。しかし、幼稚園、小学校の父母会や無農薬野菜の直売、料理講習会などを通じて、以前から住んでいる住民と新しい住民との交流が活発になり、伝統的な祭りが復活した例もある（東京書籍『新しい社会 地理』p. 231）。

…住宅に囲まれたせまい農地で、野菜や植木などの栽培を続けている農家もある。このような農地は「生産緑地」と呼ばれ、環境の保全に役立つことが期待されている（教育出版『中学社会 地理』p. 247）。

最後に、「衛星都市」と「千葉都民・埼玉都民」について引用した。これを読むと、衛星都市とは郊外に位置する都市、すなわち郊外都市のことであることがわかる。

大阪市のまわりには、私鉄の沿線にそって芦屋・西宮・豊中・尼崎・堺など、都市がいくつもあって、衛星都市とよばれている（日本書籍『中学社会 地理的分野』p. 193）。

…マイホームを求めて少しでも地価の安い神奈川・埼玉・千葉などに移り住む人が年々ふえ、千葉都民・埼玉都民などといわれることがある。今では、さらに遠い北関東や山梨などをふくむ首都圏に移り住み、都内の職場に通勤する人がふえている（同書、pp. 220-221）。

[郊外関連の参考図書（邦文）]

奥田義雄・笹山晴生監修『中学社会 地理』教育出版、2001

田邊裕・阪上順夫・吉田孝監修代表『新しい社会 地理』東京書籍、2001

江波戸昭ほか『中学社会 地理的分野』日本書籍、2001

足利健亮ほか『中学社会 地理的分野』大阪書籍、2002

奥田義雄・阿部齊監修『中学社会 地理』教育出版、2002

西脇保幸・大口勇次郎・中村研一ほか『新中学校 地理』清水書院、2002

中村和郎監修『中学生の地理』帝国書院、2002

田邊裕ほか『新しい社会 地理』東京書籍、2002

江波戸昭ほか『わたしたちの中学社会 地理的分野』日本書籍, 2002
山本正三ほか『中学生の社会科 地理』日本文教出版, 2002
金田章ほか『中学社会 地理的分野』大阪書籍, 2006
中村和郎監修『中学生の地理』帝国書院, 2006
五味文彦・斎藤功・高橋進ほか『新しい社会 地理』東京書籍, 2006
梅津正倫ほか『わたしたちの中学社会 地理的分野』日本書籍新社, 2006
山本正三ほか『高校生の新地理 A』二宮書店, 2003
山本正三ほか『詳説新地理 B』二宮書店, 2003
竹内啓一監修『地理 B』教育出版, 2004
藤原健蔵ほか『地理 A』第一学習社, 2004
高橋彰ほか『新詳地理 B』帝国書院, 2004
矢田俊文ほか『地理 A』東京書籍, 2004
竹内啓一監修『新地理 A』教育出版, 2010
藤原健蔵ほか『改訂版地理 A』第一学習社, 2010
高橋彰監修『新地理 A』帝国書院, 2010
中村和郎ほか『世界地理 B』帝国書院, 2010
矢田俊文ほか『地理 A』東京書籍, 2010
矢田俊文ほか『地理 B』東京書籍, 2010
山本正三ほか『よくわかる地理 A』二宮書店, 2010

内務省地方局有志『田園都市と日本人』講談社学術文庫, 1980
今和次郎『考現学入門』ちくま文庫, 1987
山口廣編『郊外住宅地の系譜』鹿島出版会, 1987
東京急行電鉄田園都市事業部編『多摩田園都市一開発 35 年の記録』1988
津金澤聡廣『宝塚戦略』講談社現代新書, 1991
大場正明『サバービアの憂鬱』東京書籍, 1993
島田雅彦『忘れられた帝国』毎日新聞社, 1995
藤原新也『東京漂流』朝日文芸文庫, 1995
三浦展『「家族と郊外」の社会学』PHP 研究所, 1995
西村晃『ルート 16 の法則』双葉社, 1997
小田光雄『〈郊外〉の誕生と死』青弓社, 1997
宮台真司『まぼろしの郊外』朝日新聞社, 1997
パルテノン多摩『多摩ニュータウン開発の軌跡—巨大な実験都市の誕生と変容』1998
桃花台事業記念誌作成検討委員会・愛知県ほか編『桃花台 まちの記録』1998
東京急行電鉄『街 1999 年版 東京多摩田園都市』1999
板橋区教育委員会生涯学習課文化財係『常盤台住宅物語』1999
今野直子『田園のユークツ』サンケイリビング新聞社, 1999
石川結貴『ブレイク・ワイフ』扶桑社, 1999
三浦展『「家族」と「幸福」の戦後史—郊外の夢と現実—』講談社現代新書, 1999
角野幸博『郊外の 20 世紀—テーマを追い求めた住宅地—』学芸出版社, 2000
田園調布会『郷土誌 田園調布』中央公論事業出版, 2000
福原正弘『甦れニュータウン』古今書院, 2001

青木俊也『再現・昭和30年代 団地2DKの暮らし』河出書房新社, 2001
伊藤滋『東京育ちの東京論』PHP新書, 2002
町田市『団地白書』2003
川本三郎『郊外の文学誌』新潮社, 2003
三浦展『ファスト風土化する日本—郊外化とその病理—』洋泉社新書, 2004
山田利一『「郊外」復興』春風社, 2004
柴門ふみ『my little town』ビッグコミックス, 小学館, 2004
真形隆之編『団地っ子の同窓会』東邦出版, 2005
三浦展編『脱ファスト風土宣言 商店街を救え!』洋泉社新書, 2006
三浦展編著『下流同盟 格差社会とファスト風土』朝日新書, 2006
池田市立歴史民俗資料館編『電鉄時代の幕開け』2007
若林幹夫『郊外の社会学』ちくま新書, 2007
神山光伸・馬飼野元宏編『僕たちの大好きな団地』洋泉社, 2007
原武史『滝山コミュニティー一九七四』講談社, 2007
大山真人『団地が死んでいく』平凡社新書, 2008
大山顕『団地の見究』東京書籍, 2008
長谷聰・照井啓太『団地ノ記憶』洋泉社, 2008
今尾恵介『多摩の鉄道沿線 古今御案内』けやき出版, 2008
大海一雄『西神ニュータウン物語』神戸新聞総合出版センター, 2009
原武史『鉄道から見える日本』「NHK知る楽」日本放送出版協会, 2009
原武史『「鉄学」概論 車窓から眺める日本近現代史』新潮文庫, 2011
三浦展編著 大月敏雄・志岐祐一・松本真澄『奇跡の団地 阿佐ヶ谷住宅』王国社, 2010
木方十根『「大学町」出現』河出ブックス, 2010
原武史・重松清『団地の時代』新潮選書, 2010
澤田誠二編著『団地再生・まちづくり実践講座①』明治大学リバティアカデミー, 2011
週刊朝日 2003. 2. 21号 「伸びざかり」の街 年取別人気ランキング
2003. 6. 20号 東京・大阪 あなたの街の「犯罪データ」
2004. 12. 17号 団地を守る 上, 2004. 12. 24号 団地を守る 下
2005. 5. 6/13 合併増大号 東京犯罪多発「町・丁目」ランキング
weekly AERA 2006. 11. 6号 「郊外病」の恐怖が襲う
2007. 7. 23号 「団地も年をとりました」孤独死, 均質社会の影
久保寺健彦『みなさん, さようなら』幻冬舎, 2007
有川浩『阪急電車』幻冬舎, 2008, 幻冬舎文庫, 2010
伏見憲明『団地の女学生』集英社, 2010

(にしわき かずひこ 文化創造学科)